

ハンセン病問題と私たち

光明園によろこ
そ！今日は、
ハンセン病と
人権について
考えましょう



2014年11月5日(水)10:30-12:00

**西淀川区民生委員児童委員
協議会様**
国立療養所邑久光明園
石田裕
〒701-4593 岡山県瀬戸内市邑久町虫
明6253
E-mail: ishida@komyoen.go.jp



長島愛生園

岡山県瀬戸内市邑久町虫明

邑久光明園



邑久長島大橋




ハンセン病コロニー、
Pakokku TS, Magway
Div, Myanmar 数十名
の障害を持った回復者
が生活している。経済的
支援はない。

- ハンセン病は歴史的にもよく知られ、恐れられた疾病であった。
- 世界のハンセン病の流行は、化学療法により過去70年間で劇的に変化し、そのイメージは、全く変わった。


3

ハンセン病の歴史

- ハンセン病は中国・エジプト・インドの古代文明で、すでに存在が確認されていた。
- 日本においては、一番古い記述は「日本書紀」(720年に完成)にあり、「白癩」と記されている。
- 奈良 北山十八間戸：鎌倉時代、ハンセン氏病等の病者を収容し治療する病棟として使用されていたことがわかっている (写真右)
- 1940年代初頭の近代的化学療法の発見以前は不治の病として大変恐れられていた。



- 現在、ハンセン病は治療を行えば容易に治る普通の感染症であり、その治療は世界の多くの国において無料で行われている。
- 明治初年には、全国で約35000人の患者さんがおられた。
- 日本においては、過剰な隔離政策が1907年から行われ、治る病気となっても1996年まで続いていたため、大きな人権侵害の被害が起こった。




手足と目に障害を持ったハンセン病回復者、乞食を兼ねている彼が尊厳を持って生きていくためには様々な努力とサービスが必要である。Uttarpradesh, India

病名の変化

「らい」、「らい病」、「なり」、
「かったい」
忌まわしいイメージ
↓
「ハンセン病」(leprosy, Hansen's disease)

(らい菌を発見した医師、ハンセンの名前から)



Gerhard Armauer Hansen

ハンセン病とは？

(From WHO Fact sheet N° 101, Jan. 2014)

- 病原菌(らい菌)が身体の中でゆっくりとふえることにより進行する。
- らい菌の増殖は遅く、潜伏期間は約5年であり、症状が現れるまでに20年を要することもある。
- 症状は皮膚と末梢神経が主であるが、上気道粘膜や眼にも表れる。
- **ハンセン病は治る。**



頬の脱色素斑(知覚脱出を伴う、国立イェナダハンセン病病院、ミャンマー)

ハンセン病とは？

(From WHO Fact sheet N° 101, Jan. 2014)

- 感染力は強くない。感染経路は、飛沫感染と未治療症例との頻回な接触による。
- 早期診断と薬をきちんと飲むこと(多剤併用療法)による治療が大切である。
- 未治療であれば、皮膚、末梢神経、四肢、目に恒久的な障害を生じる可能性がある。

- 2014年始めの登録患者数は、180,618
- 2013年の新患登録数は、215,656 (103カ国)



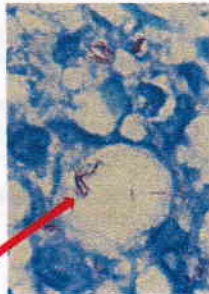
頬と左上腕の脱色素斑(知覚脱出を伴う、クルナ、バングラデシュ)

ハンセン病の診断

● 病気の見つけ方:

- (世界保健機構 WHO)
- 知覚まひを伴う皮疹
- 末梢神経の肥厚
- らい菌の証明(顕微鏡検査)

らい菌(68才日本人女性)



棒状(桿状)抗酸菌の細菌

ハンセン病とは？

(From WHO Fact sheet N° 101, Jan. 2014)



- 2014年始めの登録患者数は、180,618
- 2013年の新患登録数は、215,656 (103カ国)

脱色素斑(知覚脱出を伴う、国立イェナダハンセン病病院、ミャンマー)

10

世界保健機構(WHO)による病型分類 (PB/MB)

• 皮疹の数により

- 少菌型 PB(5個以下)
 - 多菌型 MB(6個以上)
- に分類する。

治療(多剤併用療法)に直結するように作られており、それ故にフィールドワーカーがその場で治療を開始することができる。

- 使いやすく簡単で、フィールドワーカーが、自信を持って診断と治療、管理ができる。



Tuberculoid leprosy (TT)
cases of single skin lesion



少菌型ハンセン病

6ヶ月間の治療で治る

12

多菌型ハンセン病 12か月の治療で治る



頬にできた知覚低下を伴う斑紋(少菌型ハンセン病)



小児のハンセン病(多菌型)



Khulna, Bangladesh

5 y.o. Female BT /BB

多菌型ハンセン病(結節:12か月の治療が必要)



- 丘疹・結節(leproma)
- らい腫型に特徴的で、皮疹の表面は光沢がある。

らい反応:適切な治療を受けないと、末梢神経障害や虹彩炎を起し、目や手足に恒久的な障害を残す可能性がある



13才女性 BI=6+,
Khulna, Bangladesh

初診時 17

熱こぶ (ENL)

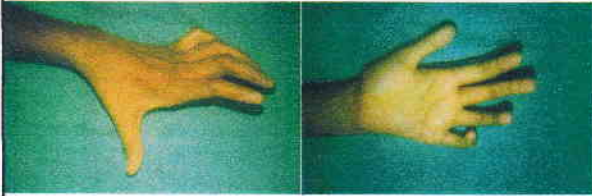


全身の発熱と圧痛を伴う結節性紅斑(新鮮例)

National Yananhar Leprosy Hospital,
Mandalay, Myanmar

18

**ハンセン病による手足や眼の障害
予防・悪化予防対策とは？**
障害を予防したり機能を再建できます



ハンセン病による手指の変形(尺骨神経麻痺による)

手術による手指の変形の再建



National Yananthur Hospital,
Mandalay, Myanmar

Post operation (lasso's method)
Khulna, Bangladesh, PIME Sisters
Khulna Leprosy Project

ハンセン病による障害に対する機能再建外科
下垂足に対する後脛骨筋腱移行術は、確立された手法で比較的容易である。術後の足底潰瘍発生率は激減し、それ故障害予防に効果的である。
Case 43 y.o. Male



Follow-up scheme of JICA Leprosy Control and Basic Health
Service Project, Myanmar, 2006



運動麻痺(顔面神経麻痺)による閉眼障害(兔眼)、写真
右は、側頭筋移行術による再建外科手術術後
(Dhanjuri Leprosy Project, Khulna Branch, Bangladesh)

鞍鼻に対する形成術(Khulna, Bangladesh)

手術前



手術後



近代的化学療法以前

- 大風子油 "Chaulmoogra Oil" が「治療薬」として使用されていたが、基本的に効果はなかった。
- ハンセン病は、1940年以前は本格的な治療法のない疾患であった。
- 1941年にサルファ剤がらい菌に効くことが発見されて以降、ハンセン病は治る病気となった。



近代的化学療法の発見

- 1941年にサルファ剤がらい菌に効果があることが発見された。
- 1940年代後半、化学療法による大々的なハンセン病対策が計画された。当時の推定患者数は、1000万から1200万人の間であろうとされていた。
- ダブソンによるハンセン病制圧対策が実施されると、何千人という患者さんが治癒し、あるいは少なくとも症状は大幅に改善した。
- さらには、ハンセン病の外観が劇的に変化した。70年前にはふつうに見られた高度の四肢の障害や所謂獅子面はもはや過去のものとなった。

25

多剤併用療法 (プリスターパック、1月分)



26

診断と治療をすすめるためのポスター (ミャンマー)



ミャンマー保健省保健局疾病対策部ハンセン病対策課提供

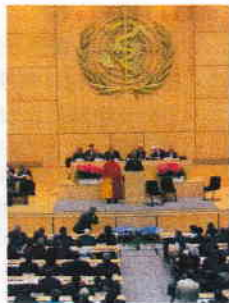
地域保健ワーカーによる診断と治療 (ミャンマー)



マヤンジャウン郡病院、ヤンゴン管区、ミャンマー

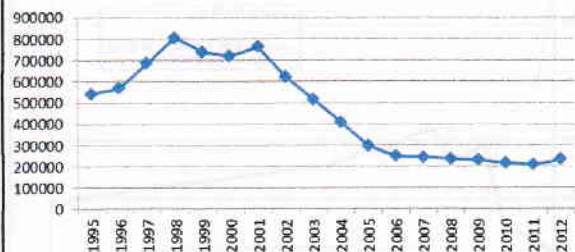
多剤併用療法の出現とハンセン病の制圧

- 1981年より、リファンピシム、クロファジミン、ダブソンによる多剤併用療法 (WHO/MDT) が開発され、初めてハンセン病の全世界的制圧に有効な世界戦略となった。
- 世界保健機関 (WHO) は、1991年の総会において多剤併用療法による、全世界的なハンセン病の制圧を2000年までに行うことを決定した。



世界保健総会, WHO, Geneva, 2006

ハンセン病の新患登録数 1995-2012, WHO



世界的には、最近数年間、新患登録数は23万人前後であり、減少傾向にはない。

Source: Weekly epidemiological record, No. 35, 2013, 88, 365-380

30

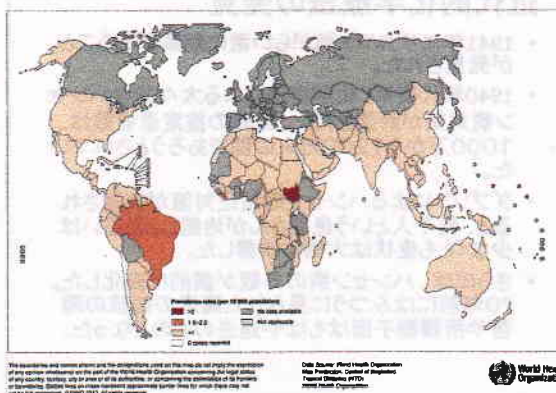
新患登録数(2013年)上位10位

SN	国名	2013年の新患登録数
1	インド	126 913
2	ブラジル	31 004
3	インドネシア	16 856
4	エチオピア	4 374
5	コンゴ民主共和国	3 744
6	ナイジェリア	3 385
7	ネパール	3 225
8	バングラデシュ	3 141
9	ミャンマー	2 950
10	タンザニア	2 005

Source: Weekly epidemiological record, No. 36, 2014, 89, 389-400

31

Leprosy prevalence rates, data reported to WHO as of January 2012



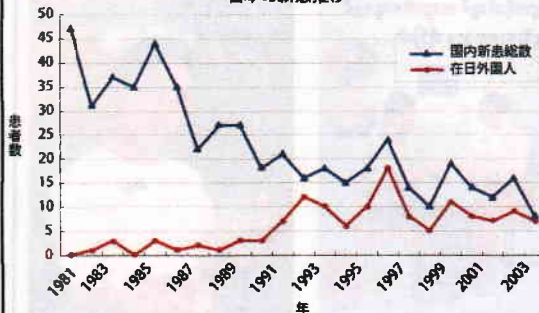
The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Similar lines do not necessarily represent agreed boundaries between the states concerned. © WHO 2012. All rights reserved.

World Health Organization

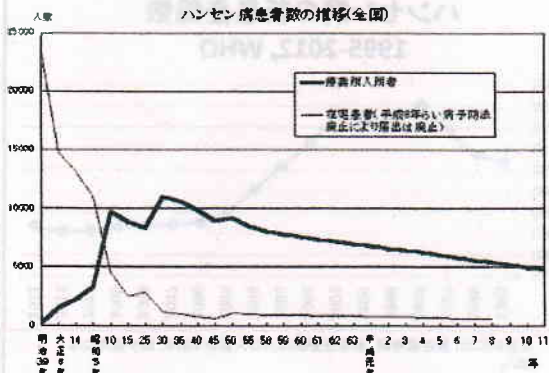
日本におけるハンセン病新患数の推移



日本の新患推移



ハンセン病患者数の推移(全国)



日本における患者・回復者の状況

- 明治以降、経済状態の好転と共に自然に減少
- 最近の新患は年間数名、高齢者で再発例
- らい予防法廃止後は療養所・一般病院で外来治療
- 療養所入所者1,850人、退所者ら社会生活者約2,000人は治癒(菌は消失)しており「回復者」
- 入所者の平均年齢84歳、平均在所期間約60年。退所者の平均年齢約70歳
- 入所者は高齢、身体障害、偏見、医療の不安、生活基盤の喪失、社会との絆の喪失のため退所は困難